

# わが街 Watching



▲今後の活躍を祈念して固い握手を交わす熊本さんと二場市長

## 田川市初のJリーガー誕生 熊本雄太さんがJ2山形に内定

12月28日、本市出身で早稲田大学スポーツ科学部4年の熊本雄太さんが市役所を訪れ、10月にモンテディオ山形（J2）に内定したことを二場公人市長に報告しました。

熊本さんは5歳のときにサッカーと出会い、地元のサッカーチームに入団。鎮西中学校卒業後は、サッカーの強豪校である東福岡高等学校に進学し、18歳以下の日本代表候補に選ばれるほどの選手になりました。

「プロのサッカー選手」という子どもの頃からの夢を実現した熊本さんは「1年目からレギュラーに定着できるよう頑張りたい。勝負の年を迎えるので、しっかりと結果を求めていきたい」と抱負を語りました。

## 種からそばを育て、食への関心も育てる

### 慶興保育園そば打ち体験

12月12日、慶興保育園でそば打ち体験が行われ、27人の園児が参加しました。

これは、田川de寺子屋プロジェクト（原田巖代表）が実施する食育事業「むすんでひらいてそば打って」のひとつで、昨年に続き今回で2回目。子どもたちは、そばの種まき、花のスケッチ、収穫、そば打ちなどの体験を通して、生産の喜びや命の大切さを学びました。この日は、そば打ち職人と一緒にそば切りなどを体験し、温かいそばに舌鼓を打ちました。

参加した竹内すずちゃん（6歳）は「そばを切るのが楽しかった。包丁が家にあるものと違って、四角くて大きくて重たかった」と初めての体験に目を輝かせました。



▲職人の手さばぎに興味津々な子どもたち

## お餅も体もポッカポカ

### 後藤寺小学校で餅つき大会

12月7日、後藤寺小学校で餅つき大会が行われ、5年生41人が参加しました。

これは、田植えや稲刈り、餅つきなどの体験を通して児童の食育の推進を図る同校の取り組みで、学校サポーターを務める松崎裕治さん（川宮）の田んぼが体験の場となっており、PTA役員のほか地域のみなさんの協力を得て実施しています。この日は、松崎さんの田んぼで収穫したもち米のうち、約40kgを子どもたちが力いっぱいつきあげ、きな粉餅などを作ってみんなで食べました。

つきたての餅に舌鼓を打った向井和花さんは「力加減が難しかったけれど、とても楽しかった」とにっこり。



▲3人でリズムを合わせて「せーの、1・2・3！」

## 生活の質を重視した地域包括ケアを

### 田川市在宅医療推進フォーラム

12月1日、福岡県立大学で「在宅医療推進フォーラム」が開催され、北葛北部医師会在宅医療・地域包括ケア担当理事で在宅医療連携拠点「菜のはな」の室長である中野智紀さんの講演に約230人の参加者が聞き入りました。

中野さんは「地域包括ケアからケアする社会へ～幸手モデルの取り組みから～」と題して講演し、埼玉県幸手市の在宅ケア「幸手モデル」を中心に、さまざまな事例を紹介。「地域を福祉的な場所にするためには、専門職が住民とつながり、ともに歩んでいく必要があります。制度に住民が合わせるのではなく、住民のやり方に制度が合わせることで、地域ではなく、個人を大切にすることが理想形です」と訴えました。



▲熱のこもった講演に会場からは大きな拍手が送られました

## 感謝の気持ちをわがまちへ

### 田川ホークスが清掃活動

12月3日、田川ホークスの部員や保護者など約35人が田川市民球場周辺の歩道などを清掃しました。

田川ホークスは、練習や試合などチームの活動を支えてくれているまちへの恩返しとして清掃活動を行っており、練習場がある大任町に続き本市で初めて実施。部員たちは、試合などで訪れている市民球場から市石炭・歴史博物館までの歩道を歩き、落ちているゴミなどを拾ったり落ち葉を集めたりして清掃しました。

毎回清掃活動に参加しているという前キャプテンの石松爽さん（後藤寺中学校3年）は「後輩たちにもこの活動をしっかりと続けていってもらいたい」と話しました。



▲練習と同じように清掃活動も真剣に取り組む部員たち



ドイツからやってきた国際交流員(CIR)のアネマリー・ガンツェルさんが、ドイツの文化や田川での生活などを紹介します。

●アネマリーさんのブログ公開中!  
<https://tagawacir.wordpress.com/>

スマホ、携帯電話は  
こちらから

QRコード→



## ドイツのバレンタインデー

みなさんは、バレンタインデーの日に好きな人に本命チョコを贈りますか？今回はドイツのバレンタインデーを紹介します。カトリック教会に由来したバレンタインデーは、ドイツでは花屋やチョコレート会社の広告キャンペーンのため、1950年代から知られるようになってきました。

日本では、バレンタインデーに女性が好きな男性にチョコレートなどを贈りますが、ドイツではカップルがお互いにプレゼントを贈り合うことが普通です。チョコレートは人気がありますが、一番人気があるプレゼントは「バラ」です。また、プレゼントの交換だけではなく、バレンタインデーにレストランで一緒に食事をします。2月14

日にドイツの街を散歩すると、バレンタインデーであることがすぐにわかります。なぜなら、お店の多くはハートの風船などのロマンチックな飾りをつけているからです。ロマンチックな雰囲気にあふれるバレンタインデーですが、疲れてしまうカップルもいて、2月14日に何もしない人たちも珍しくありません。

バレンタインデーを巡ってドイツと日本の間に文化の違いがありますが、どちらの国でも、好きな人と過ごせる時間がとても大切だということには違いはありません。

### 今日の言葉

Ich liebe dich.  
私はあなたを愛しています。